

玉樹だより

2013年1月 第23号



謹賀新年

明けましておめでとうございます。例年に比べ寒い冬となりましたが、玉樹では恒例となった「餅つき」と「門松」を手作りしてお正月を迎えました。



2013年の歳神様である蛇。巳年の「巳」という字は蛇が冬眠から覚めて地上に這い出す姿を表していると言われ“起こる・始まる”などの意味があります。また、脱皮をすることから「再生」「長寿」の象徴ともされています。実物の蛇は苦手だという方も多いと思いますが、財弁天（蓄財の神）として祀られるなど縁起が良い動物でもあります。

皆さまの健康と長寿をお祈り申し上げ、本年も玉樹・じゅげむをよろしくお祈り致します。

また、するりするりと厄を除け、実入りの多い1年となりますようお祈り申し上げます。

本年もよろしくお祈りいたします

掲載された写真は、本人様並びに家族様の了承の上で掲載しております

お正月にいろどりを

平成 24 年 12 月 29 日 (土)

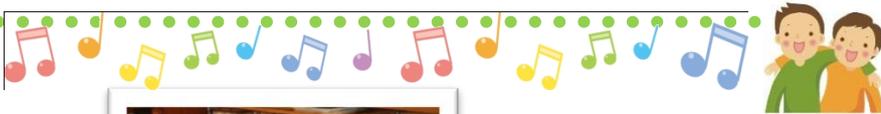
昨年に続き、ユニット内と共有スペースに、生花クラブでお世話になっている小林慶子先生と植野千恵先生が花を生けてくださいました。

素敵な作品の数々、ありがとうございました。



ユニット毎に
違う作品です！

ありがとうございました



家族交流会



平成 24 年 12 月 9 日 (日)・12 月 16 日 (日)

家族様と職員、また家族様同士でも交流を持っていただける場所作りとして、家族交流会を実施しました。当日はケーキバイキングでおもてなしさせていただき、ユニット内で 1 時間ほど和やかに談笑しました。

年の瀬にも関わらず参加してくださった家族様、ありがとうございました。



ありがとうございました

日帰りバスツアー in 浅草

平成 24 年 11 月 18 日 (日)

初夏に続き、在宅サービスを利用されている方を対象とした日帰りバスツアーが行われました。今回の行先は“浅草”。当日はちょうど浅草寺境内でイベントが行われており、たくさんの人でとても賑わっていました。



夫婦で参加してくださった片倉様。
仲睦まじい姿がうらやましくなる程でした。



冷たい風が吹き、寒い 1 日でしたが、仲見世通りでショッピングや浅草グルメを楽しみ、夕方無事に玉樹に到着。

参加してくださった皆様、ありがとうございました。

～在宅編～

スッキリ大作戦! ~epilogue~



排泄をメインに据え、今年度本格的に始動した取り組み。折返し地点である半期で振りかえり、できたことと課題を洗い出しました。そして下半期・・・



- ① 刺激性下剤の使用ゼロ。緩下剤・他の方法でコントロール可能に
- ② “夜だけはオムツ”の方が半年で16名⇒10名に減った

と、いう成果が得られたはずだった・・・のに

- ① 刺激性下剤の使用ゼロ。緩下剤・他の方法でコントロール可能に
- ② “夜だけはオムツ”の方が半年で16名⇒10名に減った

刺激性下剤が使われていた
ことがあった！トホホ・・・



1歩進んで2歩下がる・・・

気を取り直して

できたこと・継続していることは？

1ヶ月単位での振り返り



勉強会は順調！ディスカッション形式で、相互通行ができている！

新しいパッドは透湿性が高いタイプに変更。蒸れの改善へ！

現在ではその人に合った適切なタイプのパッドを探るためのデータ収集を終え、使用を開始しています。それも定期的に見直しをし、本人様が気持ちよく過ごせるようにその時々で最適な方法を選択していくことが大切です。

施設全体で取り組み、職員のケアについての意識統一を図ったことで、安定したケアが提供できる方向に進んだのではないかと思います。が、新たな入居者様を迎えた際の流れが確立できていなかったり、いつのまにか細部の解釈が変わっていた、など繰り返し確認作業をするべき課題も目に付きました。

今年度だけの動きとするのではなく、今後も定着させること、正しい目的の理解、やるべきことに対する認識を共通させることに重きを置き、ケアの要である排泄に取り組んでいきたいと思えます。

合同実践発表会

~live as one~

みんな同じように悩み、失敗しながら一生懸命にお年寄りと関わっています

日時 平成 25 年 3 月 15 日 (金) 10:00~16:00
場所 ビ・アーンジュ YUKIYA (八千代町)
出演 長崎県 NPO 法人わがまま気ままのふくし会
栃木県 特別養護老人ホーム ハーモニー
茨城県 特別養護老人ホーム Lハーモニー石下
茨城県 特別養護老人ホーム 玉樹

スーパーバイズ

生活介護研究所 福野初夫氏

主催

特別養護老人ホーム玉樹

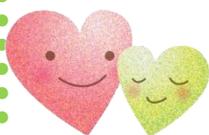
Thank you

結城市在住 外山美樹 様

マッサージマットを寄付してくださいました。

大切に使用させていただきます。

ありがとうございました。



So much!

感染症予防についてのお願い

インフルエンザ・ノロウイルス・風邪など、感染症が猛威を振るう季節となりました。マスク、アルコール消毒などが様々な場所で設置してあるのを見かけることも多いですが、玉樹では、予防の基本となる「うがい・手洗い」を徹底しています。

そこで、面会にいらっしゃる家族様にも、来所時の「うがい・手洗い」にご協力いただけますよう、お願い申し上げます。また、少しでも体調が優れないと思われる場合には、面会を控えて頂き、後日万全の体調にて面会していただけますよう、重ねてお願い申し上げます。

ショートステイ 玉樹



ショートステイを利用されている方は、身の回りの世話をしてもらっているという負い目を持っていらっしゃる方が多く、「自分はなににもできなくなっちゃって・・・」「やってもらってばかりですまないね・・・」等の言葉を口にされることが多々あります。

「介護を受ける＝受け身」のイメージを打破したい！介護認定を受けていても、普通のおじいちゃん、おばあちゃんの顔をたくさん持っていただきたい！そんな思いから、「**気持ちが動く生活作り**」を目指して様々な角度からのアプローチを試みています。

プラスの気持ちを
引き出したい！



音楽体操は3年前から
続けています！

野菜を洗う、切る、味付けをする・・・料理が好きな女性は現役時代の腕前をふるっておいしい食事を作ります。洗濯物たたみの手伝いや、職員の子供がいれば一緒に遊んでもらい、花の手入れが得意な方にはぜひお願いを。時には職員の悩み相談に真剣回答。人生の先輩である利用者様に教えていただく場面は多いものです。

役割を持ち、頼りになる存在であることで、プラスの気持ちをたくさん感じ、気持ちを上向きにさせていく・・・そんなサイクルを作ることでのびのびとした暮らしを楽しんでいただけたら、と思っています。



春から新しいレクとして加わった絵手紙。秋祭りの作品展にもいくつか出展することができました。その他にも4月からコツコツ作成した作品たち。制作に参加して下さる利用者様の人数を活かして、大作が多く並びました。

今回はあいにくの天気でしたが、可能な限り、たくさんの方の利用者様と見学してきました。

秋祭り終了後はデイルームに展示し、皆さんに観て頂きました。



Handicraft



デイの畑で“綿花”を収穫しました。現在でもどてらを縫い上げているほど針仕事の得意な利用者様にデイルームで使う座布団を縫っていただけませんかお願いし、他の皆さんには種取りをお願いしました。

昔は種を取る機械があったんだよ、など昔話に花が咲き、会話が弾みました。



広く殺風景だった浴室の設えを変えました。壁にシールを貼り、観葉植物を置いて森林浴をしているような雰囲気を出しました。

入浴剤を加え、香りを感じながら入浴していただいています。



皆さん、笑っていますか？

笑うことで場が和み、心がほぐれます。心が元気になると食事もおいしくなり、不安や痛みが軽減されます。笑うことで心拍数が上がり、酸素がたくさん身体に取り込まれて血の巡りがよくなり、脳の働きが活性化します。腹筋や表情筋を使い、筋力を使うことで便秘解消や内臓の体操にもなり、おのずと身体にも良い効果が生まれます。

“施設に来る”ことに対し、心の準備が整わず、不本意だと感じている方が多い現状の中、まずは「笑う」ことで固まった心をほどいていただきたいと思います。

笑いの効果について

其の壱 脳の働きの活性化

其の弐 血行促進・自律神経の働きを整える

其の参 筋力アップ

其の四 幸福感と鎮静作用



じゅげむ

つかだよしこ
氏名：塚田好子

好きなアイドル：嵐

職員データ



～じゅげむの楽しみ作り担当～

レクリエーションも受け持ちますが、社交性のある性格を活かして楽しい雰囲気、笑える空気を率先して作ります！

さあ、じゅげむに笑いに行こう！

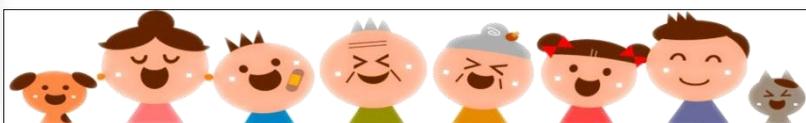


◇職員が常に笑顔でいること◇

笑顔や笑い声は伝染します！
周りも和ませ、関係性も向上。

◇おしゃべりと寄り添う時間を作ること◇

日常生活の中で“笑い”を探すことから
プラス思考になる！



身体ケアの面では、介護のプロとしてケアに当たるのが当然ですが、心の面では、ご近所さんとお茶を飲む感覚を手本にし、サービスを提供する側とされる側という前に、まずは人と人との付き合いを大切にすることで居心地の良さを感じて頂けるように心がけていきたいと思ひます。

「何気ない、日常の笑い」があふれたじゅげむを目指します。



居宅 “玉樹” としてできたこと

今年度、事業所として掲げた目標「救世主になる！」。
1年通して取り組んできた行動も残りわずかとなりました。

1. 記念日にお祝いを言おう

「誕生日おめでとう」と声掛けをするまでその日が誕生日だと気付かない方も。“その日”を大事にするって大切です。



2. 担当外の方の情報共有をしよう

担当者不在の場合や緊急時には、担当者以外のケアマネが対応する場合もあるので、情報共有のひとつとして利用者様の写真を飾りました。



3. 利用者様に安心してもらう

ケアマネ全員、写真付きで連絡先カードを作成しました。「困ったときはいつ連絡しても大丈夫」という安心感をもっていただき、顔の見える関係作りに努めました。

4. 本人様の「ココロ」の声を聞こう

本人様が本当に望むこと、現在の状況と照らし合わせて可能なことや改善できることは何か、安心して介護サービスを利用するため、他事業所との連携を図るためにも欠かせないことです。

振り返ってみると、本人様が利用されている事業所との連携など、もっと関われる事があったのではないかと感じることもあり、気付いた点は次年度に活かしていきたいと思えます。

サービス調整ばかりが業務の中心になるのではなく、“主体”はどこなのか、本人様の望む暮らし、家族様の望む暮らしはどういったものなのかを感じ取って行くことを忘れずにコミュニケーションを図り、ケアプラン作成に役立てていきたいと思えます。

◆◆◆たのしくまいにちきぼうをもって◆◆◆

編集後記 寒い冬だと思っておりましたが、想定外の大雪まで降った1月。事務所から外を見るたびに白くなっていく景色に自然の厳しさを体感しました。春が待ち遠しいですね。

◆発行◆ 社会福祉法人 紬会
TEL0296-49-3886
FAX0296-49-2987
http://www.tamaki.or.jp

